

台風シーズン到来！

災害時の避難行動を確認しましょう！



避難行動の確認

これから台風・豪雨シーズンに入り、気象状況によっては避難を余儀なくされる可能性もあります。いざ避難するとなった場合、どのように行動したらよいか分からずパニックになる方も少なくありません。日頃から避難の仕方を確認しておくことで、いざというときに落ち着いて行動することができ

ます。内閣府は、災害の状況に応じた避難行動についての指針「避難行動判定フロー」を定めています。これはハザードマップとあわせて確認することで、今住んでいる地域の災害リスクや住宅の条件などから、取るべき行動や適切な避難先を明確にできるようにしたものです。

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、万が一に備えて自宅の災害リスクと取るべき行動を確認しましょう。



避難に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症によって、自宅療養者または濃厚接触者となり、健康観察期間終了前に、避難情報発令に伴う避難が必要となった場合の対応についてお知らせします。

1 避難の判断

ご自宅が各災害の危険エリア内かどうか、左記二次元コードを読み取り確認してください。危険エリア内の場合は、避難が必要となります。エリア外であっても、不安な場合は避難してください。

2 連絡

・自宅療養者および濃厚接触者の方は、避難前に必ず市危機管理課にご連絡ください。受付で、自宅療養者もしくは濃厚接触者であることを申し出てください。

・必ずマスクを着用して避難してください。



3 持参物



使用したマスク、ティッシュなどのゴミの持ち帰り用



※二次元コードを読み取れない場合は、「串間市 ハザードマップ」で検索するか、下記URLにアクセスし確認してください。
<https://www.city.kushima.lg.jp/main/safety/cat/cat4/>

発令される避難情報一覧

警戒レベル
避難情報

住民が取るべき行動

5 緊急安全確保

命の危険
直ちに安全確保！

《警戒レベル4までに必ず避難！》

1 早期注意 (気象庁)	2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	3 高齢者等避難 (串間市)	4 避難指示 (串間市)
災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認	危険な場所から高齢者などは避難	危険な場所から全員避難

緊急時には防災行政無線でお知らせします

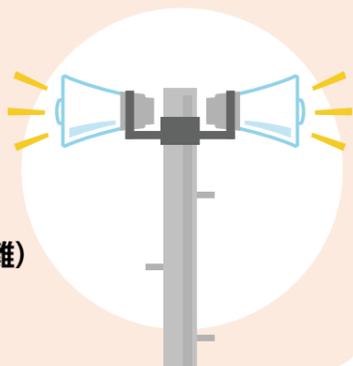
大雨や台風による土砂災害や洪水災害が予想される場合は、防災行政無線によるサイレンを使用して、避難の呼びかけを行います。避難を発令するときには、同無線、携帯電話エリアメール、テレビ、ラジオを活用したアラート、広報車など多数の手段を使って呼びかけを行います。情報収集の手段・方法を確認しておきましょう。

サイレンパターン

吹鳴(30秒)→アナウンス広報

サイレンを使用する場合

- ・警戒レベル 3 (高齢者等避難)
- ・警戒レベル 4 (避難指示)



！ 警戒レベル3や4が出たら、危険な場所から避難しましょう

！ 「避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません

！ 避難先は小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう